

Temporary Exhibition

1

柳原睦夫 花喰ノ器 か しょく

企画展① 受贈記念

Colors, Vigor and Creativity:
Vessels by YANAGIHARA MUTSUO
Commemorating the Gift to the Museum



Ko-Kutani Ware
of the Mr. and Mrs. Fukui Collection

柳原睦夫
キ・オリベ
1995年
大阪市立東洋陶磁美術館蔵
(大森敦吉氏(Museum李胡)寄贈)
撮影:栗生田兵吾

2

古九谷

企画展②

福井夫妻コレクション



色絵樹木文 大皿(青手)
江戸時代・17世紀
個人蔵

August 11, 2021–February 6, 2022
The Museum of Oriental Ceramics, Osaka
Organized by: The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

2021年8月11日(水)–2022年2月6日(日)
大阪市立東洋陶磁美術館

主催: 大阪市立東洋陶磁美術館

同時開催:[コレクション展]中国陶磁、韓国陶磁、日本陶磁、鼻煙壺

受贈記念 柳原睦夫 花喰ノ器

柳原睦夫 キ・オリベ花喰笑口瓶
1992年 大阪市立東洋陶磁美術館蔵(杉田一弥氏寄贈) 撮影:斐生田兵吾



の豊かな文化の連續性を否定せず、現代における新しい表現を模索してゆきます。柳原は、陶芸のおもしろさを「個人の表現としてソリストにもなれるけれども、アンサンブルがたちどころにできる」とだと言います。

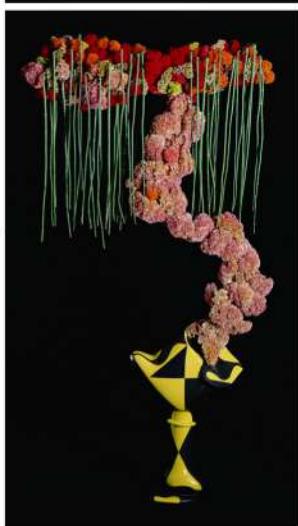
本展は柳原睦夫作品4点の受贈を記念し、個人蔵を加えた柳原作品41点とともに、柳原の作品に華道家・杉田一弥が花を活けた写真16点を併せて展示することで、作家がテーマとしてきたやきものの作品性を改めて見直します。

柳原睦夫（1934年）は、高知市出身で、京都市立美術大学（現在の京都市立芸術大学）で富本憲吉（1886-1963）に陶芸を学びました。その後、アメリカのワシントン大学やアルフレッド大学に招聘され、1960年代から70年代にかけて数度に渡り約5年間をアメリカで過ごしました。抽象表現主義やポップアートに代表されるアメリカ美術の動向を現地で体感し、帰国後には鮮烈な金銀彩を用いた独特的の造形作品で注目されます。ただし作家はむしろ「絶対に陶芸を捨てない」という意識の中で、日本のやきもの豊かな文化の連續性を否定せず、現代における新しい表現を模索してゆきます。

柳原は、陶芸のおもしろさを「個人の表現としてソリストにもなれるけれども、アンサンブルがたちどころにできること」だと言います。



柳原睦夫 繩文式弥生形壺
2001年 個人藏 摄影:菱生田兵衛



杉田一弥 ケイトウ・トクサ
2020年 作家蔵 撮影:菱生田兵吾



色絵柳燕文皿
江戸時代・17世紀



色絵木菴文輪花皿
江戸時代・17世紀



色絵鳥文隅切角皿
江戸時代・17世紀

緑、黄、紫、赤、青の鮮麗な色彩による斬新な文様が魅力の江戸時代の初期色絵磁器は、「古九谷」あるいは「古九谷様式」ともよばれています。17世紀に中国の五彩などの製作技術を導入し、ごく短い期間に生産された「古九谷」は、当時の需要と美意識を反映し、人々が集まる特別な場で使われたと考えられています。

本展では、関西在住の福井夫妻により約20年にわたって収集された「古九谷」コレクションから28点を紹介します。皿、香炉、猪口などの小品を中心に、宴の場を飾った大皿など、バラエティーに富んだかたちに、独自の色彩感覚で描かれた色絵文様は、見る人を今も楽しませてくれます。創造性とエネルギーに満ちた「古九谷」の多彩な表現をご堪能ください。

企画展②

福井夫妻コレクション 古九谷



色繪薦葉文大皿(青手)
江戸時代・17世紀

※古九谷の作品はすべて個人蔵



柳原睦夫 キオリペ花喰笑口瓶
1992年 大阪市立東洋陶磁美術館蔵(杉田一弥氏寄贈)

摄影：麦生田兵吾

開館時間	午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日	月曜日(9月20日、1月10日を除く)、9月21日(火)、12月27日(月)～1月4日(火)、1月11日(火)
入館料	一般1,400(1,200)円、高大生700(600)円 ※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)、大阪市在住の65歳以上の方は無料(証明書等提示)
アクセス	大阪市北区中之島1-1-26(大阪市中央公会堂東側)京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ
問い合わせ	Osaka Metro御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」、Osaka Metro堺筋線・京阪本線「北浜」各駅から約400m 大阪市立東洋陶磁美術館 Phone:06-6223-0055 Fax:06-6223-0057 ホームページ: https://www.moco.or.jp

| 2022年2月7日(月)～2023年秋：改修工事のため休館 |
Temporary closure due to renovations: February 7, 2022 – Fall 2023

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期の変更や入場制限等をおこなう場合があります。

最新の情報は当館ホームページでご確認ください。
In order to prevent the spread of the coronavirus (COVID-19),
we may have to change the exhibition period or restrict admissions.
Please check our website for the latest information.
We appreciate your kind understanding and cooperation.

The Museum of Oriental Ceramics, Osaka
大阪市立東洋陶磁美術館

